



※本資料は、Criteo が米国にて 8 月 5 日に発表した英文リリースの抄訳です。

2014 年 8 月 7 日

Criteo、2014 年第 2 四半期の決算を発表 過去最高の業績を達成 通年の業績予想を上方修正

2014年8月5日 米国ニューヨーク発 — デジタルパフォーマンス広告に特化したグローバルなテクノロジーリーダーであるCriteo（クリテオ、Nasdaq：CRTO、本社：フランス、CEO兼共同創設者：ジャン-バティスト・リュデル、以下Criteo）は本日、2014年6月30日を末日とする2014年第2四半期の決算を発表しました。

業績ハイライト

- 2014年第2四半期の売上高は1億6,530万ユーロと、前年同期の9,940万ユーロから66.3%（為替変動の影響を除いた場合71.5%¹）増加しました。
- 2014年第2四半期のトラフィック獲得コスト（TAC）を除いた実質売上高は6,700万ユーロ（売上高の40.5%）と、前年同期の4,000万ユーロ（売上高の40.3%）から67.4%（為替変動の影響を除いた場合72.1%）増加しました。
- 2014年第2四半期の純利益は240万ユーロと、前年同期の純損失560万ユーロから800万ユーロ増加し、黒字転換しました。
- 2014年第2四半期の調整EBITDAは1,320万ユーロと、前年同期の70万ユーロから1,260万ユーロ（為替変動の影響を除いた場合1,260万ユーロ）増加しました。
- 2014年第2四半期の営業活動によるキャッシュフローは1,120万ユーロと、前年同期の410万ユーロから170.0%増加しました。
- 2014年第2四半期のフリーキャッシュフローは70万ユーロで、前年同期のマイナス250万ユーロから320万ユーロ増加しました。

エグゼクティブのコメント

Criteoの最高経営責任者（CEO）兼共同創設者であるジャン-バティスト・リュデルは「全ての地域で確実な事業活動を推進した結果、今期も引き続き、当初の予想を上回る記録的な業績を達成しました。当社のテクノロジーを大幅に向上させつつ、世界各地において顧客ベースを拡大することができたことを嬉しく思います」と述べています。

ビジネスハイライト

¹ 外国為替変動の影響を除き、2013年の平均為替レートを使って2014年の値を設定しなおすことにより算出。

- 2014年第2四半期中に、顧客ベースの約60%に向けて新しいCriteoエンジンの本格展開を開始し、広告クリック後のコンバージョンを大幅に向上させました。
- 全ての主要ブラウザに対応するモバイルソリューションにより、2014年6月には顧客ベースの71%にユーザ・消費者一人ひとりの興味関心と関連性の高いパーソナライズされたモバイル広告を提供しました。
- 南・北・中央アメリカにおける前年比成長率（為替変動の影響を除く）は、主に米国の堅調な伸びによって、第1四半期の66%から78%へと上昇しました。
- 2014年第2四半期中、ミッドマーケットセグメントでの急速な拡大を含め、総顧客数は前年同期から43%（564）増加し、6,131に達しました。
- 2014年第2四半期中、以下をはじめとする顧客と新たに契約を結びました。
 - 南・北・中央アメリカ：Orvis、PartyCity
 - EMEA：Abritel（HomeAwayグループ）、ING、PayPal、Samsung、Voyage-SNCF.com
 - アジア太平洋地域：AB Road、music.jp

本リリースの全文は[英文資料](#)をご参照ください。

###

Criteo（クリテオ）について

Criteo は一人ひとりの興味・関心と関連性の高いパーソナライズされたデジタルパフォーマンス広告をスケーラブルに提供しています。広告クリック後のコンバージョンを予測、最適化することで、ROI（投資利益率）の透明性を確保し、測定を容易にします。フランスに本社を置く Criteo は南北アメリカ、ヨーロッパ、アジアに 17 カ所のオフィスを展開し、1,000 名を超える従業員を擁して世界各国 7,000 以上のパブリッシャーと直接取引関係を結び、6,000 社以上の広告主の広告を生成・配信しています。

詳細は <http://www.criteo.com> をご覧ください。

CRITEO 株式会社はその日本法人です。詳細は <http://www.criteo.com/jp> をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先：

CRITEO 株式会社 広報担当: PressAPAC@criteo.com